

## 2、目標達成計画

事業所名 グループホーム水戸

作成日 令和4年 12月 19日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍において、入居者の認知機能、身体機能の低下が目立ってきている。	入居者との日々のかかわり、季節の行事などを通し楽しみながら脳の賦活を促し、認知症状、心身機能の維持回復を図る。	スタッフは努めて入居者とのかかわりを持つ時間を取る。心身機能、脳の賦活を促す活動を提供する。	未定
2		入居者スタッフのコロナウイルスの感染の危険	感染対策の徹底維持、施設外部からのウイルス侵入を阻止する。	スタッフやその家族にコロナ感染があった際、速やかに報告が行われ、濃厚接触者、勤務調整などの対応を適切に行う。施設内の感染対策の維持徹底。	未定
3	15	コロナ禍で密になるためスタッフ研修会を見送っていた。スタッフ教育の必要性	研修会を再開しスタッフの高齢者、認知症に対するスキルアップを目指す	年間スケジュールを計画、認知症の基礎知識、対応の方法や権利擁護の関連することを研修に盛り込む。	1年間
4		コロナ禍で家族の面会制限中(ガラス越しでの面会、土日祝の限定としている。)にて入居者が家族と疎遠になる傾向にある。	家族に入居者の状況をわかっていたく。	定期的に家族に電話などで状況を伝え、可能な限り、面会(ガラス越し)に来ていただけるよう促していく。家族とのコミュニケーションを密にしていく。	1年間